

大谷小中学校だより

NO.2
令和3年5月27日
珠洲市立大谷小中学校

さわやかな季節になりました

GIGA スクール構想 ～ 一人一台端末の活用～ がスタートしました

校長 上田 辰美

5月に入ると、広葉樹は、萌黄色に丸く膨らみ、瞬間の美しさを見せてくれます。しばらくすると鮮やかな新緑一色となります。コロナ禍であっても、季節の美しさは変わりなく、その息吹の中に身を置くことができる幸せを感じずにはられません。そして、着々と移る季節の中で、教育現場において新たな取組が始まりました。

令和3年度は、文部科学省のGIGAスクール構想実現に向けての年となりました。コロナ禍にあって、学びを保障する手段として、3年間の準備期間を前倒ししてのスタートです。

珠洲市においても4月から小中学校の児童・生徒一人ひとりに、一台のタブレット型端末（Google社のクロームブックというOSを搭載したパソコンです）が配布され、高速大容量の通信網も整備されました。一人1アカウント（住所のようなもの）を義務教育終了時まで使用し、クラウド（Google社の金庫のようなもの）を利用し、高速無線LANによって、いつでもどこでもデータを保存したり、活用したりできるようになりました。

このタブレット端末は、子ども自身が自らが学ぶためのツール、つまり、ノートや鉛筆、消しゴムのように文房具として使いこなし、自分の考え記録したり、写真を撮ったり、絵を描いたり、検索したりして活用します。様々な場所で活用することはもちろん、仲間同士で考えやデータ、資料を瞬時に共有し、更に考えを伝え合うことができる点に特徴があるようです。また、入学してから卒業するまでの9年間、使い続ける中で、自分の学びを蓄積することも可能となりました。この端末を活用することで、児童生徒の力を最大限に引き出す教育を目指します。

子どもたちは、登校時に、職員室前のキャビネットから、自分のタブレットをもって教室に向かいます。学校での一日を通じて、いつでも利用できる状況にあります。子どもたち全員での講習会を終え、授業で活用し始めています。昼休みには、授業の課題整理やタイピング練習を行っています。来週は、児童生徒全員が、自分のノートを撮影し、各自のノートの書き方を見合い、感想を打ち込み交流することに活用します。下校時には、各自、このキャビネットに戻し、充電を行います。

孔子の教えに「知識の真髄は、もっただけでなく使うところにある」とありますが、まさに知識だけでなく、この端末を活用し、道具として使いこなすことができるようになることを期待しています。

夏休みには、各家庭に持ち帰っての学習にも活用することとなります。保護者の皆様とは、活用におけるルールの確認等を進めて参ります。子どもたちと一緒に、どうぞ、この端末での学びの様子をご確認ください。



すてきな激励会でした

5月7日（金）に、奥能登中学校卓球大会の激励会を開催しました。大谷小中学校の激励会は、他の小学校や中学校にはない素敵な特徴があります。それは、1～6年の子供たちも参加して7～9年生の選手を激励する会であること、5・6年生が応援リーダーを務めていることです。

激励会では、後期の選手一人一人の試合に臨む抱負を聞くことができました。また、5・6年生のよく練習されたメリハリのある進行や、前期の子どもたちの元気な声による応援を観ることができました。選手も応援者も人数は多くはないのですが、たくさん人数がいる学校に負けないよい激励会でした。義務教育学校のよさが出る行事だなと感じました。



6年 辻花 若菜

私にとって、今回の激励会は、自分が成長したと思える激励会でした。特に大事なと思ったことは、大きな声を出すことは何も恥ずかしくないということです。校歌を歌うとき、自分は下手だなと思ってあまり声を出せていませんでした。でも、7・8・9年生にがんばってほしいという思いと、周りのみんなが頑張っている姿を見て、がんばろうという思いになりました。今度の激励会もみんなで力を合わせてがんばりたいです。



5年 川端 美冬

わたしにとって、今日の激励会は、初めて旗を振る激励会でした。激励会で、一番心に残ったことは、旗を振ったことです。旗を振っているときに、「リズムが合っているかな。」と思ったけど、しっかりリズムに乗れていたのが良かったです。そして一番大事だと思ったことは、大きな声を出すことです。大きな声で、後期課程の人たちに「がんばれ!」という気持ちを伝えられるので大事だと思いました。今度の激励会では、もっと大きな声で気持ちを伝えたいと思いました。



奥能登中学校卓球大会

5月8日（土）に穴水中学校で奥能登大会がありました。7～9年の選手全員が、団体戦でも個人戦でもそれぞれ懸命に戦っていました。堂前さんの決勝戦では、コロナで声が出せない体育館の中での応援でしたが、とても力が入りました。選手のみなさんお疲れさまでした。次は県体予選となる能登地区大会です。力を出し切れるようがんばってください。

おめでとう

奥能登中学校卓球大会
男子個人 第2位 堂前

黒米づくりの歴史について学びました

5月21日（金）に、黒米づくりの歴史について学ぶ「ふるさと学習会」がありました。これは、PTA総括委員会の企画で行われました。講師は、平家の里構想研究会代表の大兼政忠男さんでした。6限目に3～9年生がだんだん広場に集まり、児童生徒は、歴史の教科書に出てくる平家と大谷地区とのつながりや、平家の里構想研究会が黒米の田植えを始めた経緯などの話を聞きました。講話の後には、8人の児童生徒から次々と質問や感想が出ていました。

翌日の22日に予定されていた黒米田植えは、残念ながら中止となりましたが、今年初めて実施された黒米についての講話は、参加した児童生徒にとって大変勉強になったようです。お話をいただいた大兼政様、企画をしていただいたPTAの皆様、ありがとうございました。



3年生が施設めぐりに行ってきました

市教育委員会では、社会科の学習の一環として施設めぐりを実施しています。これは、3年生から6年生まで学年ごとに市内のいろいろな施設や史跡を訪れて子供たちに学習する機会を与えてくれるものです。

学年のトップに5月14日（金）には、3年生が施設めぐりに参加しました。3年生は、若山小学校の児童と一緒に珠洲消防署、珠洲警察署、ラポルトすず、すずなり館などを巡り学習してきました。1日がかりの活動だったためか、3年生の3人は学校に帰ってきたときには、くたくたな様子でした。それだけ充実していたのでしょう。



川端 晃史

しせつめぐりで、花やさんがじっけんをしていることにおどろきました。やきゅうじょうでは、ミリオンスターズがきているのにびっくりしました。おべんとうもおいしかったし、友だちもいっぱいできたのでうれしかったです。

庄田 ゆいと

行ったところもありました。ぼくのだいすきなせんろがありました。わかったところは、すずなりに大谷のしおが売っていたことです。また、いきたいです。



田谷 あやな

ラポルトすずのぶたいの前のイスが535せきあったのでびっくりしました。ずーっとたっていて足がいたくなりました。でもお昼ごはんがおいしかったのでよかったです。それに楽しかったです。



教育活動			教育活動		
1	火	街頭指導 自然観察会 3・4年	16	水	学教研1類A
2	水	尿検査③	17	木	
3	木	中間テスト 施設めぐり4年	18	金	激励会(能登地区大会)
4	金	中間テスト	19	土	
5	土		20	日	能登地区中学校卓球大会(個人)
6	日		21	月	
7	月	水質検査	22	水	施設めぐり5年 職員会議
8	火	児童生徒集会 校内研修会	23	木	いしかわ読書の日 学教研1類B
9	水	市体育交歓会5年	24	金	市巡回教育相談 かわせみ座公演
10	木		25	土	委員会 ICT支援員来校
11	金	授業参観・講習会・学級懇談	26	日	
12	土		27	月	
13	日		28	火	計画訪問A
14	月		29	水	
15	火	街頭指導	30	木	

PTA活動、今年も熱く！

5月の中旬に各専門委員会や役員会が開かれ、年間計画などについて話し合われました。今年度も保護者の「子供たちのために！」との熱い思いのもとで活動計画が決定しました。主な予定を紹介いたします。ご協力よろしく願いいたします。

月	行 事
6月	感染予防対策講習会
7月	親子塩田体験 第1回ベルマーク集計
9月	親子除草作業 黒米稲刈り 運動会(18日)
10月	給食試食会等 親子球技大会 非行被害防止講座
11月	文化祭(6日)
12月	「うみなり」発行 第2回ベルマーク集計
3月	「荒波」発行

ご厚志ありがとうございます

- 舟本先生より、黒メダカをいただきました。
- 豊平さんより、アクエリアス、夏野菜の苗をいただきました。
- 常俊さんより、キャベツ、エンドウをいただきました。
- 庄田さんより、カブトムシの幼虫をいただきました。

みなさま、ありがとうございました。



令和3年度 大谷小中学校 PTA
活動スローガン

【 つなげていく 】

㊦となも こどもも

㊦おきな “わ”となり

㊦のしむ学校

㊦ここにこPTA

会長さん、副会長さんが、真剣に、そして誰もが意識できるように考えられました。